

株式会社アソシエ・インターナショナル

【子育てひろば・一時預かり】あっぴい新橋

(港区新橋6-4-2 きらきらプラザ新橋2F,3F) ★港区から委託を受けた地域子育て支援施設です★

2022年3月27日 (日)

10:00~14:00

【あっぴい新橋って、こんなところ】

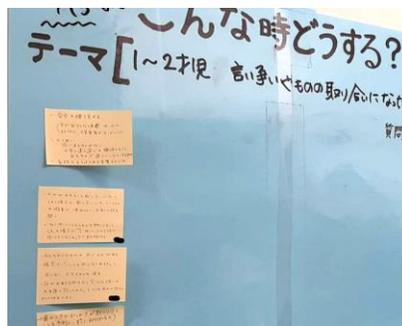
☆地域の子ども・保護者のためのサポート役

あっぴい新橋は、親子で遊んだりイベントに参加できる場として、またお子さんを一時的に預けたい保護者のための子育て支援施設です。一般的な保育園とは異なり、毎日さまざまな子どもたちの育ちに関わることができます。託児所のようなイメージを持たれるかもしれませんが、施設としての共通の保育方針を持ちつつ、個にあわせた保育しています。加えて、保育や子育て支援に関わる様々な企画を立案して、いろいろと試しながら、地域の親子を広く支えていけるというお仕事もできます。

☆『また来たい場所 また会いたい人』を目指して

子育て支援施設として、利用する子どもや保護者の「また遊びにきたいな」「困ったときに、あっぴいの保育士さんに話しに行こうかな」という気持ちが、より多くの親子に広がっていくことが大事だと考えています。加えて、働く職員も「明日も保育や仕事が楽しみ」と思えるようなチームづくりを大事にしています。

※写真は職員同士の相談ボード。困りごとをすぐ相談できるようにしています。



【職員のKさん(新卒3年目)に聞いてみた!!】

☆保護者からの“困ったらまた戻ってきます”という言葉が嬉しかった

あっぴい新橋に新卒配属された保育士Kさん(3年目)です。保育園や幼稚園に入園する前のお子さんが社会生活に慣れることを目的にあっぴいを利用されることが多く、「子どもたちが保育園・幼稚園生活の良いスタートがきれること」に自分たちが貢献できていることが嬉しいとのこと。保護者の方は、親以外の人との関わりや集団生活に順応していけるかドキドキしています。そんな保護者の気持ちを少しでも解消できていることも嬉しいです。とあるママさんから「保育園で泣いていたなら、あっぴいにまた来ますね!」とあっていただき、その親子の拠り所になれているんだなとやりがいを感じています。子どもとは“はじめまして!”の出会いが多く、環境に慣れないお子さんは泣いてしまうことも多いですが、心を込めて向き合うことで落ち着いた笑顔が見られます。自分の関わりによって子どもの表情が明るくなることは素直に“良かった~!”と感じられます。

【お話しくださったのはこの方】



運営部長の北嶋さんから「あっぴい新橋は、当社でも一番オススメの施設です」とのお話がありました。施設長の林さんは、日々のマネジメントにおいて「風通しのよいチームづくり」「職員が主体的であること」を大事にされているとのことでした。

林さんは小さなきっかけを職員に投げかけることを意識がけており、今年度は職員が自発的に「"子育て支援って、なんだ?"と考える場づくり」や「保護者からの子育て質問箱」などが始まっているそうです。

取材担当の感想として「保育や子育て支援を追求するプロ集団」という印象でした!

(右:施設長 林和枝さん
左:運営管理部 部長 北嶋健也さん)